

人事担当者が学び、出会い、 語り合える場

人事図書館

ことし4月、人事領域に特化した図書館が開館したと聞き、さっそく訪ねてみました。

編集部

住所：東京都中央区日本橋蛸殻町1-12-7
WACROSS NINGYOCHO 6F
(東京メトロ日比谷線「人形町駅」徒歩2分)

- 開館時間：会員は24時間365日利用可能(特定休館日を除く)
- 利用料金：月間契約で1人¥3,480(税抜)
(法人契約可・法人での複数契約可)
- 無料体験利用：可能(要予約)
- 本の貸し出し：館内での閲覧のみ
- 実名・社名の開示、名刺交換、営業行為や勧誘等禁止



「メンタルヘルス」を特集した棚。司書が
時季に合わせて特集を組む。会員の希望
に応じて蔵書を増やしていく予定



吉田 洋介 (よしだようすけ)
大手コンサルティング会社で、組織
人事支援として国内外500社以上
の採用、人材開発、組織開発、人事
制度等に関わる。2021年に独立、
株式会社 Truststyle を設立。

吉田氏が人事図書館を設立した理由の1つに、「人事領域の課題に直面する担当者の拠り所をつくりたかった」というものがある。採用、育成、評価、配置転換、定着等の普遍的なテーマに加え、近年は人的資本開示、コンプライアンス、メンタルヘルスケア、健

人事担当者の拠り所に

2024年4月、東京の人形町にオープンした『人事図書館』。人事や組織論等に関する蔵書が約1700冊あり、コワーキングスペースとして利用できるほか、人事にまつわる各種イベントや勉強会等が連日開催される。会員になれば24時間365日利用できる。各々の企業で悩みや問題意識を抱える人事担当者が集うコミュニティを目指す人事図書館について、館長の吉田洋介氏に話を聞いた。

康経営等、人事領域と重なるテーマの重要性が増し、人事が担う役割も広がっている。

しかし、特に中小企業の場合、ごく少数の担当者が複数の業務を兼務することも多い。個人情報や社内事情が深く関わることから、業務上の悩みを相談できる相手も少ない。

吉田氏は、こうした問題を抱える人事担当者が、

- ・課題解決の一助となる知見
- ・悩みを打ち明けられる相談相手との出会い

・人事としての学びや経験を深めて成長する機会

を得られる場が必要ではないかと考えた。

人事関連の交流会等はこれまでも開催されていたが、それらが開催されるタイミングと、自分が悩みを抱えるタイミングは一致しないことのほうが多い。適切な解決策を知る前に、仕方なく別の方法で対処してしまうこともある。

こうしたギャップを埋めるのが、人事図書館のような場というわけだ。

肩書きという「鎧」を脱ぐ

人事図書館の特徴として、「名

日中は黙々と作業をする人がちらほら。個室ブースや会議室も備える



刺交換は原則禁止」「匿名にする」「お互いをあだ名で呼び合う」といったルールがある。

人事担当者は機密性の高い情報を取り扱うため、社名や社歴、肩書きを公表すると、悩みを打ち明けにくくなってしまふ。内容によつては、コンプライアンスに反したり、「大企業だから」「業態が違いすぎるから」等の先入観が生まれ、率直な意見交換が難しくなる。

そこで人事図書館では、社名や肩書き等を伏せることで、お互いに色眼鏡をかけずに語り合えるように配慮している。利用者からも「社名や肩書きといった鎧を脱いで、1人の人間として、悩みや課題を話し合える機会は貴重だ」という声が聞こえてくる。

会員同士の話題は、面接で重視する点、個別のソフトやツールの活用法といった初歩的な領域の相談から、自社の課題がそもそも人事部門で解決すべきものなのかといった問題提起まで、多岐にわたる。ある議題について、各々が自らの経験をもとに意見を交わすワークショップのような話し合いになることもある。

経歴も経験も異なる人事担当者が、さまざまなスケールの課題に

ついて、遠慮なく意見交換を行なえる場のニーズは多い。

会員の主な利用目的は「イベントに参加する」「誰かとしゃべる」「本を読む」「コワーキングスペースとして利用する」など。最も多いイベントへの参加に次ぐのは「誰かとしゃべる」だという。

自社の問題や悩みについて、打ち明ける機会を求める人事担当者の多さがよくわかる。会員数は、開館から1か月半ほどで約400名と着実に増加している。

「悩みを抱えて孤独に頑張りがけるのは苦しい。身近に相談できる人や、課題や学びをシェアしながら共に成長できる仲間をつくることが大切です」(吉田氏)

人事は「相談する」よりも「相談される」部署といわれる。しかし、人事の領域が複雑化するなかで、浮き彫りとなった自社の課題に頭を抱える人事担当者は少ないだろう。

だからこそ、人事について学び、率直に語り合える場の価値は、今後ますます高まっていくのではないか。

実務の経験年数にかかわらず、人事の仕事で悩みを抱える人にとって貴重な施設といえる。